病害虫発生予察 5月月報

(生育概況及び病害虫の調査結果)

令和7年5月の気象表(長野地方気象台)

観測所名	区分	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長野	本年	14.6	18.3	17.2	38.5	18.0	29.5	68.7	67.8	56.3
	平年	15.2	16.0	17.9	19.9	25.5	23.9	70.3	67.6	76.9
松本	本年	14.9	19.7	17.6	47.0	36.0	56.5	64.6	83.1	47.1
	平年	15.4	16.2	17.7	22.8	32.9	38.9	69.8	70.1	75.6
諏訪	本年	13.6	18.2	16.8	54.5	35.5	47.0	67.7	72.8	36.7
	平年	14.3	15.2	16.8	32.6	38.3	40.9	67.8	69.7	75.4
軽井沢	本年	10.4	14.9	13.1	68.0	25.5	53.5	67.0	69.4	36.9
	平年	11.2	12.0	13.5	29.2	36.6	43.0	65.1	63.7	69.7
飯田	本年	14.9	18.9	18.8	71.0	56.5	68.5	61.4	62.0	42.3
	平年	15.7	16.6	18.1	48.8	59.3	45.7	64.1	66.4	74.8

上旬から中旬にかけて高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、下旬は前線や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多くなった。

1 麦

(1) 生育概況

令和7年産(令和6年播種)の生育概況は、農業試験場ホームページの生育調査にある「麦類の生育状況(令和7年産(令和6年播種))」を参照ください。

農業試験場ホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyoshiken/teirei/index.html>)

(2) 病害虫の発生状況

① 麦類赤かび病

5月下旬の巡回調査では、コムギ赤かび病の発生はみられなかった。ただし、南信地域、北信地域の一部ほ場で発生がみられた。

② さび病

5月下旬の巡回調査では、東信地域、南信地域、北信地域の一部のほ場で発生がみられたが、発病度及び発生地点率は平年と比べやや低かった。

③ うどんこ病

5月下旬の巡回調査では、東信地域、中信地域の一部のほ場で発生を確認したが、被害程度及び発生地点率は平年と比べやや低かった。

④ コムギ縮萎縮病、コムギ萎縮病

中信地域、北信地域の一部のほ場で発生がみられ、中信地域、北信地域ともに発生面積が前年と比べ増加した。その他の地域では発生はみられなかった。

2 水稲

(1) 病害虫の発生状況

① 育苗期の細菌性病害

南信地域の一部のほ場で、もみ枯細菌病の発生がやや多くみられたが、発生程度は平年並～やや低かった。

② 苗立枯病

中信地域の一部のほ場で、ピシウム菌等による苗立枯病の発生がやや多くみられたが、発生程度は平年並～やや多かった。

③ ばか苗病

中信地域の一部の苗床で発生がみられたが、発生程度は平年並～やや低かった。

④ ニカメイガ

以前は大きな被害が発生していたが、現在発生程度は低下している。ただし、近年は東信地域の一部で、発生程度が高まっている。

上田市に設置した予察灯への誘殺は、5月第5半旬から誘殺され、発生時期は平年と比べ遅かった。また、5月の誘殺頭数は平年と比べ少なかった(第1表)。

小布施町に設置したフェロモントラップの調査では、5月第6半旬から誘殺されたが、5月の誘殺頭数は平年並～やや多かった(第2表)。

第1表 ニカメイガ越冬世代成虫の予察灯への誘殺数(上田市)

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
平年	0.2	0.3	1.3	2.2	3.3	7.9
本年	0	0	0	0	1	6

平年は、2015年から2024年までの平均値

第2表 ニカメイガ越冬世代成虫のフェロモントラップ誘殺消長（小布施町）

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
平成元年～30年の平均	0.5	0.4	2.6	8.2	21.7	36.7
平年	0	0	0	0.1	0	0.4
本年	0	0	0	0	0	1

平年は、2015年から2024年までの平均値

⑤イネミズゾウムシ

アメダス気象データを用いた有効積算温度から算出した越冬地からの半数脱出推定時期は、北信地域は平年と比べやや遅かったが、全県としては平年と比べ早い地点が多かった（第3表）。

巡回調査では、成虫による食害の発生程度は平年と比べ低かった。

第3表 イネミズゾウムシ越冬後成虫の越冬地からの半数脱出推定時期

アメダス地点	佐久	上田	諏訪	伊那	飯田	木曾福島	松本	大町	長野	飯山
平年	5/10	5/6	5/15	5/7	5/4	5/13	5/4	5/22	5/7	5/13
本年	5/5	5/1	5/15	5/3	4/30	5/14	4/30	5/20	5/9	5/18
(平年差)	(-5)	(-5)	(±0)	(-4)	(-4)	(+1)	(-5)	(-2)	(+2)	(+5)

平年は、2015年から2024年までの平均値、

JPP-NET『有効積算温度計算シミュレーションversion2』により算出

果樹の生育概況

令和7年産の果樹生育概況は、果樹試験場ホームページの定例調査にある「令和7年の生態調査結果」および南信農業試験場ホームページの調査速報にある「令和7年果樹生態調査」を参照ください。

果樹試験場ホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/kajushiken/chosa/teirei/index.html>)

南信農業試験場ホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/nannoshiken/joho/sokuho/index.html>)

なお、5月21日の午後5時半から6時にかけて、中野市、山ノ内町を中心として北信地域の7市町村で、りんご、もも、ぶどう等に対し、降雹、突風による葉の裂けや新鞘・果軸の折損、果実の裂傷等の被害があった。

3 りんご

(1) 病害虫の発生状況

①うんどこ病

巡回調査では、東信および北信地域の各1ほ場で果そうへの発生がみられた。

②黒星病

巡回調査では、果（花）そうおよび新梢葉への発生はみられなかった。

③斑点落葉病

巡回調査では、新梢葉への発生はみられなかった。

④腐らん病

巡回調査では、東信および北信地域の各1ほ場で胴腐らんの発生がみられた。

枝腐らんの発生は東・北信地域の5地域でみられた。

⑤ハダニ類

巡回調査では、ハダニ類の寄生はみられなかった。

⑥キンモンホソガ

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ調査では、5月第2半旬を除き、誘殺頭数は平年並であった（第1表）。

第1表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

月	5月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	1.8	0.7	0.1	0.7	5.1	17.8
前年	1	1	0	4	35	83
本年	0	5	0	0	4	14

平年は、2015年から2024年までの平均値

⑦ハマキムシ類

巡回調査では、果実への寄生はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ調査では、5月の誘殺はなかった（第2表）。

第2表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

月	5月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	0	0	0.1	0.1	0.3	0.2
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平年は、2015年から2024年までの平均値

⑧シンクイムシ類

巡回調査では、スモモヒメシンクイ、ナシヒメシンクイ等シンクイムシ類の果実への寄生はみられなかった。

スモモヒメシンクイの須坂市（果樹試験場）におけるフェロモントラップ調査では、5月は第6半旬を除き、誘殺頭数は平年より多かった（第3表）。

第3表 スモモヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

月	5月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	26.4	12.0	8.7	4.6	1.4	0.9
前年	123	29	14	4	0	2
本年	62	35	17	13	2	0

平年は、2015年から2024年までの平均値

4 なし

(1) 病害虫の発生状況

①黒斑病

巡回調査では、発生がみられなかった。

高森町（南信農業試験場）の調査では、越冬病斑上の孢子形成度は平年と比べ少なく推移した（第1表）。

アルタナリア属菌の孢子捕捉数は、4月中旬から飛散が確認され、5月は平年と比べ少なかった（第2表）。

殺菌剤無散布の果実及び新梢葉の発病は、5月下旬からみられ、果実の発病は平年と比べ多かった（第3、4表）。

第1表 黒斑病の越冬病斑上の孢子形成度 高森町（南信農業試験場）

区分	4月			5月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	11.7	16.3	19.5	17.3	28.0	32.7
前年	3.3	11.5	8.3	5.6	10.0	40.0
本年	0.0	5.6	0.0	0.0	7.1	0.0

平年は、2015年から2024年までの平均値

値は、数値が100の場合は1個の病斑に100個以上分生子を形成している状態を示す

第2表 黒斑病のアルタナリア属菌の捕捉孢子数（個） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月		
	上旬	中旬	下旬
平年	7.2	19.6	27.1
前年	13	14	37
本年	3	16	20

平年は、2015年から2024年までの平均値

18mm×18mm当たりの孢子数（個）

第3表 黒斑病の果実の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹）（%）
高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月
	5日	15日	25日	5日
平年	0	0	1.3	4.6
前年	0	0	1.0	9.5
本年	0	0	2.6	12.0

平年は、2015年から2024年までの平均値

第4表 黒斑病の新梢葉の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹）（%）
高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月
	5日	15日	25日	5日
平年	0.1	0.3	3.1	7.1
前年	0	0.5	0.9	11.4
本年	0	0	5.1	7.4

平年は、2015年から2024年の平均値

②黒星病

巡回調査では、発生がみられなかった。

高森町（南信農業試験場）の調査では、子のう胞子の飛散は5月第5半旬までは平年と比べ少なく、第6半旬は多かった（第5表）。殺菌剤無散布の果実及び果そう葉の発病は、6月5日までは平年に比べ低く推移している（第6、7表）。

第5表 ナシ黒星病子のう胞子飛散消長（個） 高森町（南信農業試験場）

区分	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	4	152	338	957	3,292	1,435	3,415	3,052	1,081	1,619	731	645
前年	0	47	0	1	17	504	62	202	830	2,226	350	3,764
本年	0	0	6	5	34	5	7	20	89	239	139	1,272

平年は、2015年から2024年までの平均値

罹病葉から飛散する子のう胞子数（個）

第6表 黒星病の果実の発病（%） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月
	5日	15日	25日	5日
平年	13.8	26.7	28.7	40.4
前年	0.3	0.5	1.3	1.2
本年	0.1	0	0	1.8

平年は、2015年から2024年までの平均値

「幸水」の殺菌剤無散布樹で調査

第7表 黒星病の果そう葉の発病（%） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月
	5日	15日	25日	5日
平年	1.4	5.7	21.1	35.7
前年	0	0	4.0	6.9
本年	0	0	0.5	0.9

平年は、2015年から2024年までの平均値

「幸水」の殺菌剤無散布樹で調査

③赤星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

④ハダニ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤リンゴコカクモンハマキ

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップ調査では、5月第4半旬から誘殺され、誘殺頭数は平年値と比べ多かった（第8表）。

第8表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
平年	0	0	0.2	0.3	1.4	1.2
前年	0	0	1.0	0	1.0	0.5
本年	0	0	0	1.0	2.5	2.0

平年は、2015年から2024年までの平均値

⑥ナシヒメシクイ

巡回調査では、芯折れ被害はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）でのフェロモントラップ調査では、5月第1半旬の誘殺頭数は平年と比べ多かったが、それ以降は概ね平年並であった（第9表）。

第9表 ナシヒメシクイのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
平年	2.6	1.2	1.0	0.4	0.3	0.2
前年	5.0	0.5	2.5	0	0	1.0
本年	6.5	1.5	0.5	1.0	0	0

平年は、2015年から2024年までの平均値

⑦カメムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップ調査では、クサギカメムシの誘殺はなかったが、チャバネアオカメムシは5月第4半旬に誘殺され、誘殺頭数は平年と比べ多かった（第10表）。

第10表 カメムシ類の誘殺状況（頭） 高森町（南信農業試験場）

区分	月	5月					
	半月	1	2	3	4	5	6
クサギカメムシ	平年	0	0	0	0	0	0
	前年	0	0	0	0	0	0
	本年	0	0	0	0	0	0
チャハネアカカメムシ	平年	0.1	0	0.3	1.1	2.7	1.4
	前年	0	0	1	2	20	7
	本年	0	0	0	5	29	1

平年は、2015年から2024年までの平均値

5 もも

(1) 病害虫の発生状況

①灰星病

巡回調査では、灰星病による花腐れの発生はみられなかった。

②せん孔細菌病

巡回調査では、北信地域の1ほ場で葉に発生がみられた。

③縮葉病

巡回調査では、東信地域の2ほ場で発生がみられた。

④ナシヒメシンクイ

巡回調査では、芯折れの発生はみられなかった。

⑤モモハモグリガ

巡回調査では、被害葉はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ調査では、5月の総誘殺頭数は平年より少なかった（第2表）。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（頭） 須坂市（果樹試験場）

月	5月					
	半月	1	2	3	4	5
平年	3.3	0.7	1.5	1.7	4.3	20.7
前年	0	0	0	2	4	4
本年	0	1	0	0	1	2

平年は、2015年～2024年までの平均値

⑥アブラムシ類

巡回調査では、東信地域、北信地域の各1ほ場で新梢への寄生がみられた。

⑦カメムシ類

須坂市（病害虫防除部）のフェロモントラップへの誘殺はみられなかった（第3表）が、果樹試験場が試験場内に設置したフェロモントラップには5月にあわせて3頭が誘殺された。

6 ぶどう

(1) 病害虫の発生状況

①うどんこ病

巡回調査では、花穂に発生はみられなかった。また芽しぶ（り病新梢）もみられなかった。

②灰色かび病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③べと病

巡回調査では、発生はみられなかった。

④黒とう病

巡回調査では、発生はみられなかった。

7 うめ

(1) 病害虫の発生状況

①かいよう病

巡回調査では、南信地域の一部のほ場で、果実に発生がみられた。

②黒星病

巡回調査では、果実に発生はみられなかった。

8 野菜・花き

(1) 病害虫の発生状況

①トマトの病害虫

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

虫害においては、東信地域の露地栽培でアブラムシ類、北信地域の施設栽培でオンシツコナジラミの寄生がみられた。

②きゅうりの病害虫

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

虫害においては、南信地域の施設栽培でアザミウマ類、ハダニ類、中信地域の施設栽培でアザミウマ類、北信地域の施設栽培でアブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類の寄生がみられた。

③すいかの病害虫

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。
虫害においては、中信地域の一部のほ場でアブラムシ類の寄生がみられた。

④いちごの病害虫

巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

⑤キャベツの病害虫

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。
虫害においては、東信地域の一部のほ場でチョウ目害虫による被害がみられた。また、中信地域ではコナガの寄生、一部ほ場でアブラムシ類、アザミウマ類、ウワバ類の寄生がみられた。
北信地域では、アブラムシ類の寄生、チョウ目害虫による被害がみられた。

⑥ブロッコリーの病害虫

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。
虫害においては、東信地域でチョウ目害虫による被害、一部ほ場でコナガの寄生がみられた。また、南信地域ではウワバ類の寄生、チョウ目害虫による被害がみられた。

⑦はくさいの病害虫

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。
虫害においては、東信地域の一部のほ場でチョウ目害虫による被害がみられた。

⑧レタスの病害虫

巡回調査では、東信地域の一部のほ場ですそ枯れ病、斑点細菌病、中信地域の一部のほ場ですそ枯病の発生がみられた。
害虫の発生は、みられなかった。

⑨セルリーの病害虫

巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

⑩アスパラガスの病害虫

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。
虫害においては、南信地域の一部のほ場（雨よけ栽培）、北信地域の一部のほ場（雨除け栽培）でアザミウマ類の寄生がみられた。また、東信地域の露地栽培で、ジュウシホシクピナガハムシ寄生がみられた。

⑪タマネギの病害虫

巡回調査では、中信地域で黒斑病、べと病の発生がみられた。
虫害においては、中信地域、北信地域でアザミウマ類、ネギハモグリバエの寄生がみられた。

⑫ねぎの病害虫

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。
虫害においては、南信地域でアザミウマ類、ネギハモグリバエの寄生がみられた。

⑬ばれいしょの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。
虫害においては、アブラムシ類の寄生がみられた。

⑭きくの病害虫

巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

⑮アザミウマ類（野菜・花き全般）

青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺頭数は、ほぼ平年並であった（第1表）。

第1表 アザミウマ類の青色粘着トラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.4	0.0	0.4	1.1	0.6	2.9
		本年	0	0	1	3	0	0
富士見町立沢 (防除適期決定ほ)	きく	平年	-	-	-	-	-	-
		本年	0	0	1	32	24	10
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	1.0	1.1	6.0	11.1	8.4	6.2
		本年	1	0	2	0	3	3
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	0.4	0.0	0.4	0.3	4.9	6.9
		本年	0	0	1	2	0	0

平年は、塩尻市では2017年から2024年までの平均値
上田市・長野市では2018年から2024年までの平均値
富士見町では調査地点変更により平年値無し

⑯アブラムシ類（野菜・花き全般）

黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の誘殺頭数は、ほとんどの地点で5月中旬から多くなり、5月の誘殺頭数の合計は、小諸市、上田市、塩尻市洗馬、長野市で、平年値の3～4倍の誘殺頭数であった（第2表）。

第2表 アブラムシ類有翅虫の黄色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生子察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	1.3	5.0	9.4	10.8	11.4	14.1
		本年	2	2	13	10	26	19
小諸市山浦 (県発生子察ほ)	レタス	平年	8.5	5.8	6.6	13.5	21.6	24.3
		本年	3	7	28	56	100	125
上田市菅平 (地区発生子察ほ)	はくさい	平年	1.4	1.1	2.0	2.6	5.3	4.7
		本年	0	1	9	7	13	18
富士見町立沢 (地区発生子察ほ)	きく	平年	-	-	-	-	-	-
		本年	1	10	10	19	37	21
塩尻市洗馬 (地区発生子察ほ)	レタス	平年	3.5	3.9	10.1	18.4	19.7	33.5
		本年	10	12	70	35	94	80
長野市上ヶ屋 (地区発生子察ほ)	キャベツ	平年	1.3	1.4	3.4	5.4	6.4	9.6
		本年	1	1	9	43	21	15

平年は、塩尻市・小諸市・富士見町では2017年から2024年までの平均値

上田市・長野市では2018年から2024年までの平均値

富士見町では調査地点変更により平年値無し

⑰コナガ（アブラナ科野菜）

フェロモントラップによる調査では、誘殺頭数は塩尻市宗賀で平年と比べ少なく、上田市で平年並であったが、小諸市、原村、朝日村、長野市では平年と比べ多く、5月の誘殺頭数の合計は、平年の2～3倍で、特に原村は平年の約5倍と、誘殺頭数が多かった（第3表）。

第3表 コナガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生子察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	7.1	11.8	14.0	16.9	14.3	16.3
		本年	3	1	2	0	1	1
小諸市山浦 (県発生子察ほ)	レタス	平年	9.0	7.6	15.2	19.5	16.1	29.0
		本年	30	52	37	24	18	36
上田市菅平 (地区発生子察ほ)	はくさい	平年	0.1	0.1	0.1	0.4	0.7	0.1
		本年	0	0	0	0	0	0
諏訪郡原村 (防除適期決定ほ)	ブロッコリー	平年	7.4	10.0	19.3	19.5	30.4	26.4
		本年	36	321	106	35	26	11
東筑摩郡朝日村 (地区発生子察ほ)	はくさい	平年	9.8	10.8	17.4	19.9	18.0	18.4
		本年	26	60	46	38	40	20
長野市上ヶ屋 (地区発生子察ほ)	キャベツ	平年	3.7	9.4	22.6	23.3	33.0	35.6
		本年	1	60	58	154	60	65

平年は、2015年から2024年までの平均値

朝日村では2019年から2024年までの平均値

⑱オオタバコガ

フェロモントラップによる調査では、塩尻市の誘殺頭数は平年と比べやや多かった。小諸市の誘殺頭数も平年と比べやや多く、特に第6半旬は、平年の約10倍と、かなり多かった。須坂市では、概ね平年並の誘殺頭数であった（第4表）。

第4表 オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生子察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.6	0.5	1.1	2.7	3.8	3.5
		本年	0	6	8	3	6	13
小諸市山浦 (県発生子察ほ)	レタス	平年	1.6	1.7	3.4	3.0	3.7	6.4
		本年	8	6	7	13	5	67
須坂市小河原 (農業試験場)	さつまいも・ 水稲	平年	0.1	0.1	0.9	0.3	0.1	1.1
		本年	1	3	2	0	1	1

平年は、2015年から2024年までの平均値

⑱ヨトウガ類

フェロモントラップによる調査では、ヨトウガの誘殺頭数は、塩尻市で平年と比べやや多かったが、須坂ではほぼ平年並であった（第5表）。

ハスモンヨトウは、塩尻市では5月第4半旬に初誘殺され、ほぼ平年並であった。須坂市では、平年と比べやや早い5月第2半旬に初誘殺されたが、その後誘殺はみられなかった。上田市では誘殺はみられなかった（第6表）。

シロイチモジヨトウは、塩尻市では平年と比べやや遅い5月第6半旬に初誘殺された。長野市ではシロイチモジヨトウの誘殺はみられなかった（第7表）。

第5表 ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	1.6	2.5	5.1	9.8	9.7	12.6
		本年	3	5	10	4	16	19
須坂市小河原 (農業試験場)	さつまいも・ 水稻	平年	6.1	6.3	7.6	7.0	6.4	5.0
		本年	4	5	4	3	5	3

平年は、2015年から2024年までの平均値

第6表 ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.0	0.1	0.0	0.8	1.1	1.1
		本年	0	0	0	2	1	5
須坂市小河原 (農業試験場)	さつまいも・ 水稻	平年	0.1	0.0	0.3	0.3	1.7	1.7
		本年	0	1	0	0	0	0
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.0	0.1	0.1	1.0	0.7	0.5
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は、2015年から2024年までの平均値

第7表 シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.1	0.0	0.6	0.2	0.2	0.3
		本年	0	0	0	0	0	2
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は、塩尻市では2015年から2024年までの平均値

長野市では2018年から2024年までの平均値